

ビジネスウォールNタイプ



〈保証内容のご確認とお願い〉

●この取扱説明書(本書とする)は、記載内容(無料修理規定)に基づいて、無料修理を行うことをお約束するものです。本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の有償修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談室までご相談ください。

●無料修理を受けられる場合は、本書と「ご購入明細書」の両方が必要になります。お買い上げ日と販売店を、「ご購入明細書」にてご確認いただき、本書とともに大切に保管してください。
※「ご購入明細書」とは、製品の納品時にお客様にお渡しする「納品書兼出荷案内書」・「販売店が発行する納品書(製品明細の記載があるもの)」のことです。

〈保証期間について〉

●保証期間は、一般社団法人日本オフィス家具協会(JOIFA)のガイドラインに準拠し、電気部品を除いて、お買い上げの日から下記の年限とさせていただきます。

1年	外観・表面 仕上げ	塗装および樹脂部品の変色・退色、 レザー・クロスの摩耗。
2年	機構部・ 可動部	引き出し・スライド機構・扉の開閉・ 錠前・昇降機構などの故障。
3年	構造体	強度・構造体にかかわる破損。

※使用頻度としましては、週40時間(週5日として1日8時間)の労働時間を想定しています。

●電気部品に関しましては、下記の年限とさせていただきます。

1年	電気部品	照明器具、スイッチ、ACアダプタ、 コンセント、モーターなど。
----	------	------------------------------------

お客様の
個人情報の
利用について

ご購入明細書に記入されている、お客様の個人情報は保証期間内の修理・交換活動にのみ使用し、それ以外の目的に利用したり、第三者に提供することは一切ございません。

〈無料修理規定〉

- 保証期間中に、取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で当社の責任と認められる不具合・故障が発生した場合は、無料修理をさせていただきます。その際、張り地などの部材交換が必要な場合に本製品と同等の機能部材を使用する場合があります。また、弊社の判断により製品全体を交換させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。
- お買い上げ日から保証期間中に故障が発生した場合は、お買い上げの販売店、またはお客様相談室へご相談ください。
- 保証期間が過ぎた後や保証が適用されない故障につきましては、有料で修理させていただきます。
- 保証期間内でも以下の場合は有料となりますのでご了承ください。
(イ)本書、およびご購入明細書のご提示が無い場合
(ロ)ご購入明細書にお買い上げ年月日お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句が書き換えられた場合
(ハ)消耗部品(弊社指定部品)の交換
(ニ)第三者から転売・譲渡を受けた場合
(ホ)火災・水害・塩害・ガス害や地震などの天災地変による故障または破損
(ヘ)故意・過失に関係なく、使用上の誤りによる故障または破損
(ト)加工・改造、不当な修理による故障または破損
(チ)屋外・温浴施設・プールなどで使用された場合の故障または破損
(リ)使用上の消耗により発生する異音などの現象変質またはさびかびの発生
(ヌ)外観の傷へこみ・変形や再現のできない不良
(ル)一般的に品質や機能上、影響のない感応的現象(におい、音鳴りや振動など)
- ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店、またはお客様相談室までご相談ください。
- 本書およびご購入明細書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書およびご購入明細書は、再発行致しませんので大切に保管してください。

もくじ

1. 安全上のご注意	1
2. 未永くご使用いただくためのご注意	4
3. 使いかた	6
4. お手入れのしかた	8
5. 故障かな?と思ったら(不調診断)	9
6. 部品の交換について	10
7. 構成部品	10
8. 組み立てかた	12

このたびはコクヨ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前に、よくお読みの上、正しくお使いください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

※諸般の事情により、予告なく仕様が変わることがあります。あらかじめご了承ください。

コクヨ株式会社

本社オフィス 〒537-8686 大阪市東成区大今里南6丁目1番1号
ホームページURL <http://www.kokuyo.co.jp/>

お問い合わせ、ご相談はフリーダイヤル(全国共通)

お客様相談室 ☎0120-201-594

受付時間: 9時~17時(土日祝日・年末年始・夏期休業中を除く)

1.安全上のご注意

ここに書かれた注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。いずれも安全にお使いいただくための重要な内容ですから、必ずお守りください。



警告

取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性があります。



注意

取り扱いを誤ると、軽傷を負うかまたは、物的損害が発生する可能性があります。



警告

●お客様で、解体や移設・レイアウト変更をしないでください。

組立・施工が不十分ですと、破損や転倒によりけがをする原因になります。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

●転倒防止金具は、絶対に外さないでください。

転倒によって、けがをする原因になります。

●壁面に設置する製品は、地震対策のために、壁固定金具(オプション)で本体を壁固定されることをお勧めします。地震などの揺れによる転倒のおそれがあります。

●本体を並べて使用する場合は、上下・横連結がされているかご確認ください。連結されていない場合は使用せず、お買い上げの販売店にご連絡ください。

●ラテラルキャビネットは単体で使用せず、必ず2台以上で連結してください。単体でのご使用となる場合は、転倒防止対策を行ってください。

転倒によりけがをするおそれがあります。転倒防止対策は、お買い上げの販売店にご相談ください。

●引き出しに収納するときは、各引き出しにバランスよく収納してください。

上段や手前だけに偏った収納をすると、引き出したときに転倒するおそれがあります。

●棚板に収納するときは、各棚にバランスよく収納してください。

上段に偏った収納をすると、転倒によるけがのおそれがあります。

●引き出しは、一段ずつ引き出してください。

同時に二段以上引き出すと、転倒のおそれがあります。

●製品を廃棄するときは、焼却しないでください。

有害ガスが発生するなど、周囲に危険をおよぼす原因になります。

製品を廃棄するときは、専門業者に依頼するか、お買い上げの販売店にご連絡ください。



注意

●健康に影響をおよぼすことが考えられますので、以下の内容を守って使用してください。

●この製品を購入された当初は、化学物質の発散が多いことがありますので、しばらくの間は換気や通風を十分に行ってください。

●この製品をご使用になる室内が著しく高温多湿(温度28℃、相対湿度50%超が目安)になる場合は、窓を閉め切らないようにするか、強制的に換気を行ってください。

●乱暴な取り扱いや用途以外の使用はしないでください。

けがや故障・破損の原因になります。

●床に傾斜や段差のある、不安定な場所では使用しないでください。

転倒によるけがの原因になります。

●この製品と収納物の重量に耐えられない場所には、設置しないでください。

転倒によるけが・破損の原因になります。

●設置の際は、本体の水平を保つようにアジャスターで調節してください。

前傾した状態で設置すると、扉が開いたり、引き出しが流れ出たり、本体が倒れてきて、けがをするおそれがあります。

●運動具や乗物がわりに使ったり、ゲームなどの遊びに使用しないでください。(特にお子様にご注意ください。)

転倒や破損により、けがをする原因になります。

●ストーブなど火気を近づけて使用しないでください。

やけどや火災の原因になります。

●可動部のすき間に手や指を入れないでください。

けがをする原因になります。

●使用していないボルト穴や取付穴に指を入れないでください。

(特にお子様にご注意ください。)

けがをする原因になります。

●棚爪は、4カ所とも同じ高さに取り付け、爪が側板に確実に入っていることを確認してください。

棚板やのせているものが落下し、けがや破損のおそれがあります。

●天板の上に立ち上がったり、腰を掛けたりしないでください。

転倒や転落によるけがの原因になります。

●専用のオプションパーツ以外は取り付けしないでください。

落下によるけがや破損の原因になります。

●のせるものが、天板からはみ出さないようにしてください。

ものが落下して、けがをするおそれがあります。

●製品にぶら下がらないでください。

(特にお子様にご注意ください。)

転倒や破損によるけがの原因になります。

●扉や引き戸、引き出しの開閉はゆっくり行い、手や指、衣服をはさまないように注意してください。

勢いよく行くと、けがや破損するおそれがあります。

●引き出しは、ゆっくり引き出してください。

強く引き出すと、ストッパーの乗り越えや破損によって引き出しが抜け落ち、けがをするおそれがあります。

- 引き出しを引き出した状態で、上から押さえたり、重いものをのせないでください。転倒や破損してけがをする原因になります。
- 扉を開いた状態で、上から押さえたり引っ張ったりしないでください。転倒や破損してけがをする原因になります。
- 貴重品を入れないでください。簡易施錠ですから、工具などによる破壊には耐えられません。
- 扉や引き戸、引き出しを施錠するとき、すべての扉や戸、引き出しが完全に閉まっていることを確認してから施錠してください。扉や戸、引き出しが少しでも開いていると、キーが回っても施錠されない場合があります。
- 製品の上に立ち上がったたり、腰を掛けたりしないでください。また、もたれかかったり、ぶら下がったりしないでください。
(特にお子様にご注意ください。) 転倒や転落により、けがをする原因になります。
- 棚板に登らないでください。棚板が外れたり、本体が倒れて、けがをする原因になります。
- 上置きの開き扉を開けたまま、下置きの収納部を使用しないでください。立ち上がったときに、頭をぶつけてけがをする原因になります。

- 可動部に注油しないでください。油がたれて床や衣類を汚す原因になります。
- 製品の分解や改造はしないでください。けがや故障の原因になります。
- ボルトやネジがゆるんだままで使用しないでください。本体の変形・破損や転倒により、けがをする原因になります。早めに締め直してください。
- 溶接外れやリベットのゆるみ、アジャスターやキャップ類の欠落など、異常を発見したときは、直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用していると、製品の破損により、けがをするおそれがあります。
- 棚板などが変形した状態で使用しないでください。落下や転倒などにより、けがをする原因になります。
- ガラスにきずや欠けが生じたときは、すぐに取り替えてください。そのまま使用していると、破損しやすくなり、けがをするおそれがあります。
- 製品に貼ってあるラベルは、絶対にはがさないでください。誤った使いかたや事故を防止するためのものです。ラベルがなくなったり、はがれたときは、当社から取り寄せ、正しい位置に貼ってからご使用ください。
- この製品を他の人が使用するとき、この取扱説明書をよく読んでから使用するようにご指導ください。

- この製品は室内または屋内用です。屋外での使用や水ぬれは、故障やさび・変色の原因になります。
 - 直射日光やストーブなどの熱が直接あたる場所や、湿気・乾燥の著しいところでの使用は避けてください。変色や変形のおそれがあります。
 - 天板に飲み物をこぼしたままにしたり、ぬれ雑巾などをそのまま放置しないでください。表面材の変色やはがれ、ひび割れ、そりなどの原因になります。必ず水分が残らないように拭き取ってください。
 - 天板の上に、熱い湯のみや加熱したなべやかんなどを直接置かないでください。白く変色するおそれがあります。茶たくなべ敷きを敷いて使用してください。
 - 棚板や引き出し・トレーには、耐荷重(下表数値)を超えてものをのせたり、入れたりしないでください。故障や変形の原因になります。
- | | |
|------|---------------|
| 棚板 | 490N [約50kgf] |
| 引き出し | 490N [約50kgf] |
- 棚板への収納は均等に行ってください。中央に偏ると棚板が変形する原因になります。
 - 収納物が棚板からはみ出さないようにしてください。また、トレーも確実に収納してください。
 - 扉・引き戸の開閉や施錠の妨げになったり、トレーの破損、故障のおそれがあります。
 - 収納物が引き出しの後部や側面からこぼれ落ちないようにしてください。引き出しの開閉や施錠の妨げになったり、故障や破損のおそれがあります。
 - キーを差し込んだ状態で、扉や引き出しを開閉しないでください。製品が傷ついたり、鍵が破損するおそれがあります。
 - 扉や引き戸、引き出しを開けたままで、キーを施錠位置にして、閉めないでください。鍵がかかってしまったり、施錠装置が破損する原因になります。
 - キーを持って扉や引き出しを開閉しないでください。製品が傷ついたり、鍵が破損する原因になります。
 - 扉を開くとき、キーが隣の収納庫に当たらないように注意してください。製品が傷ついたり、鍵が破損するおそれがあります。
 - キーに無理な力を加えて回さないでください。鍵が破損する原因になります。
 - シリンダー錠の鍵穴に、油や粘度のある液体を入れないでください。誤動作の原因になる場合があります。
 - スペアキーは、施錠する本体の中には入れないでください。万一の紛失に備えて、必ず別の所に保管してください。

2. 未永くご使用いただくためのご注意

- キーを紛失したときは、鍵番号を確認の上、お買い上げの販売店へ合鍵の作成をご注文ください。鍵番号は、鍵穴の周辺に刻印されています。
- 使用開始後、引き出しや棚板に収納したものの重量や床の状態により、本体にゆがみが出て、扉や引き出しと本体とのすき間が目立ったり、こすれてきたりすることがあります。そのときは再度、本体のレベルを調整してください。(⑩ページの「⑨レベルの調整」を参照)
- 天板や木目パネルはメラミン化粧板です。手跡が付いた場合は、「4. お手入れのかた」を参考にして、こまめにお手入れしてください。
- ときどき、ボルトやネジのゆるみによるガタツキがないか点検し、ある場合は締め付けてください。

3. 使いかた

① 付属品

ご使用前に、付属品の数を確認してください。

付属品の種類	タイプ	両開き シャッター 2枚引き違い 3枚引き違い	ラテラルキャビネット コンビキャビネット マジック扉型	フリップアップ オープン
キー			2	-
取扱説明書			1	1

② 鍵の使いかた

鍵の状態(かけた・かけていない)を、鍵穴の表示窓で色表示します。

引き出しは、オールロック機構により、すべての引き出しが同時に施錠・解錠されます。

鍵のかけかた(施錠)

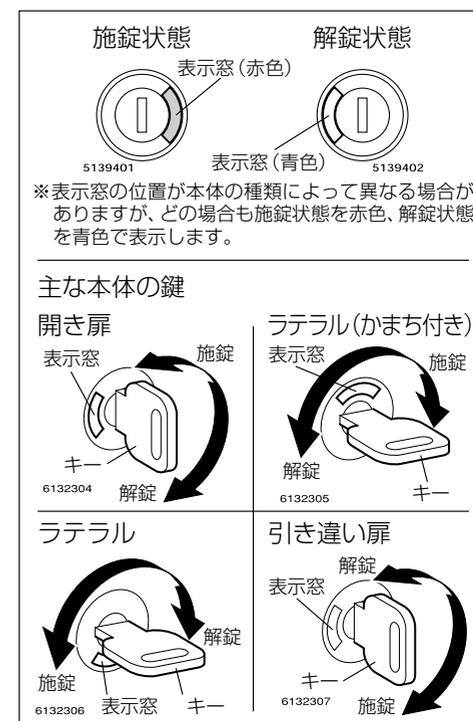
鍵穴にキーを差し込み、時計回りにいっぱいまで回すと表示窓が赤色になり、鍵がかかります。

鍵の開けかた(解錠)

鍵穴にキーを差し込み、反時計回りにいっぱいまで回すと表示窓が青色になり、鍵が開きます。

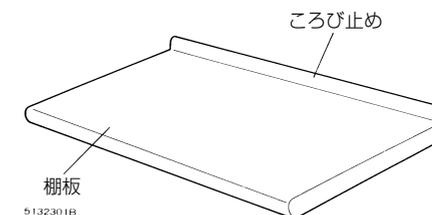
〈扉開閉時のご注意〉

施錠・解錠した後は、必ずキーを抜いてから扉を開閉してください。



③ 棚板の前後の入れ替え

棚板には、ころび止めが付いています。普段は、ころび止めを後側にセットしてください。棚板からものを落ちにくくするときは、ころび止めを前側にセットしてください。



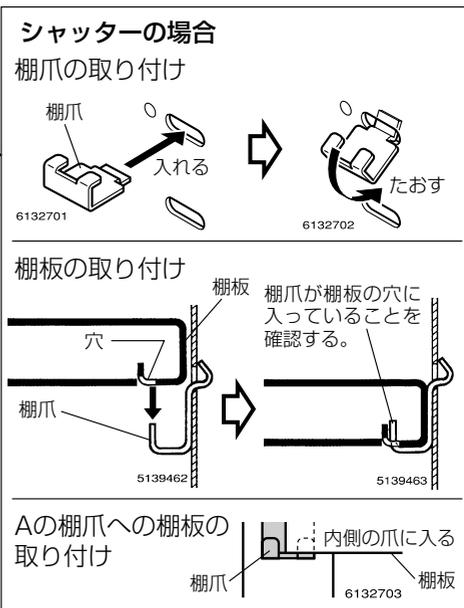
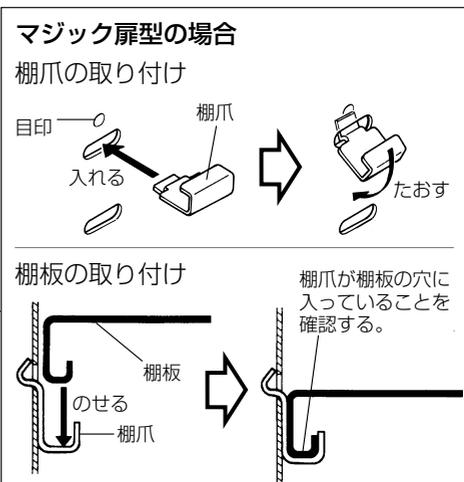
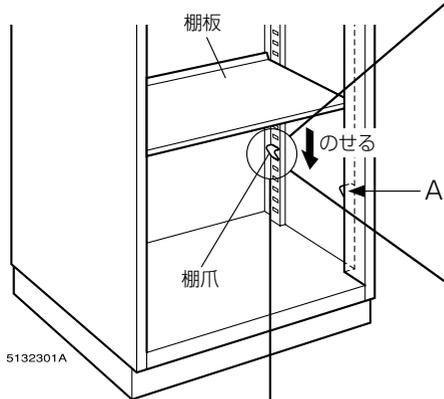
3.使いかた

④ 棚板の高さ調節のしかた

棚板は、24mmピッチ(マジック扉型・シャッターは23.4mmピッチ)で高さ調節できます。調節は、棚板になにものせていない状態で行ってください。

〈調節のしかた〉

棚板を外した後、棚爪をご希望の高さに付け替えて、棚板をのせてください。



△注意

棚爪は、4カ所とも同じ高さに取り付け、爪が側板に確実に入っていることを確認してください。

棚板やのせているものが落下するおそれがあります。

⑤ レベル調整のしかた

収納物の重量などで製品が水平になっていないときは、ねじれ現象が生じ、扉や引き出しおよび引き戸の作動が固くなったり、重くなったり、施錠ができないなど、故障の原因になりますので、レベル調整によって製品の水平を保ってください。

※レベル調整の方法は、⑩ページ⑨を参照して行ってください。

4.お手入れのしかた

- 日常のお手入れは、乾いたやわらかい布でから拭きしてください。
- 汚れが著しい場合は、以下の手順で汚れを落としてください。
 1. うすめた中性洗剤につけた布を、かたく絞って拭いてください。
 2. 水につけた布をよく絞って、洗剤が残らないように拭き取ってください。
 3. 乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取ってください。

〈汚れを落とすときの注意〉

水にぬれたままにしておいたり、アルコールやシンナー系溶剤、酸・アルカリ性洗剤の使用は避けてください。さびや変色の原因になります。

5.故障かな？と思ったら（不調診断）

こんなときは	→ こう処置してください
●引き出し・扉が閉まらない。	収納物がはみ出したり、こぼれ落ちて引き出しや扉の動きを妨げていることが考えられます。 動きを妨げているものを取り除いてください。
●引き出しを引き出せない。	引き出し前面の引き手レバーを持ち上げて、そのまま手前に引いてください。
●施錠できない。	引き出しや扉が開いていることが考えられます。引き出しや扉をすべてきちんと閉めてください。
	収納物がはみ出したり、こぼれ落ちて引き出しや扉の動きを妨げていることが考えられます。 動きを妨げているものを取り除いてください。
	本体にゆがみが出ていることが考えられます。アジャスターを調節して、水平にしてください。(⑩ページの⑨を参照)
●本体がグラグラする。 ●扉と扉、扉と本体(天板・側板)との間に不均一なすき間ができてたり、こすれたりする。	アジャスターを調節して、水平にしてください。(⑩ページの⑨を参照)
●棚板がグラグラする。	棚爪が同じ高さに取り付けられていない、または棚板が確実に取り付けられていないことが考えられます。棚爪の取付位置と棚板の取付状態を確認し、取り付け直してください。(⑥ページの③・⑦ページの④を参照)

※以上の処置をしても直らないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

6.部品の交換について

部品の交換をご希望の場合は、お買い上げの販売店、またはお客様相談室までお問い合わせください。

⚠️注意

お客様での交換作業はしないでください。
製品の故障・破損の原因になります。

7.構成部品

本体の種類	オープン					両開き扉						
	H 702 802	H 1050 1200	H 1450	H 1752	H 2100	H 400	H 702 802	H 1050 1200	H 1450	H 1752	H 2100	
梱包部品												
本体	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
棚板	1	2	3	4	5	—	1	2	3	4	5	
棚爪	4	8	12	16	20	—	4	8	12	16	20	
部品袋	十字穴付トラスボルト M6×10	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	
	袋ナット(フランジ付) M6	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
	底板キャップ	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
	六角ナット(フランジ付) M6	4	4	4	—	—	—	4	4	4	—	—
	補強キャップ	2	2	2	2	2	—	—	—	—	—	—
	連結穴キャップ	—	—	—	4	4	—	—	—	—	4	4

本体の種類	引き違い戸・3枚引き違い戸			引き違い戸 W1800	ラテラル・コンビキャビネット	シャッター	
	H 702 802	H 1050 1200	H 2100	H 1050	H 702 802 1050 1200	H 1050	
梱包部品							
本体	1	1	1	1	1	1	
棚板	1	2	5	4	—	—	
シャッター用棚板	—	—	—	—	—	2	
棚爪	4	8	20	16	—	8	
部品袋	十字穴付トラスボルト M6×10	8	8	9	8	8	8
	袋ナット(フランジ付) M6	4	4	5	4	8	4
	底板キャップ	4	4	4	4	—	4
	六角ナット(フランジ付) M6	4	4	—	4	—	4
	連結穴キャップ	—	—	4	—	—	—

7.構成部品

本体の種類	マジック扉	フリップアップ扉	調整箱
	H 2100	H 400	H 200
梱包部品			
本体	1	1	1
棚板	—	—	—
マジック扉用棚板	5	—	—
棚爪	20	—	—
部品袋	十字穴付トラス ボルト M6×10	6	—
	袋ナット (フランジ付) M6	4	—
	十字穴付トラス ボルト M6×25	—	4
	グロメット	—	4
	連結穴キャップ	4	—

8.組み立てかた

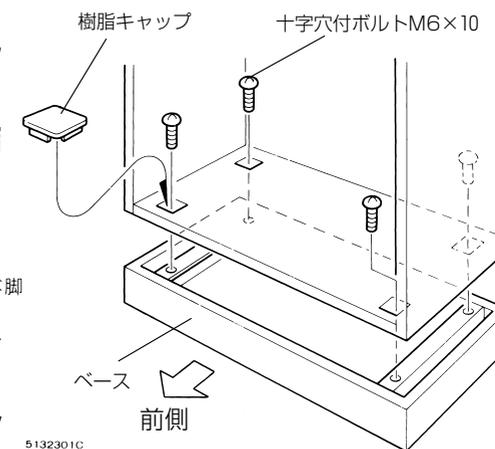
この組み立て説明は、手順を表していません。各製品によって、該当する箇所の作業を行ってください。

⚠注意

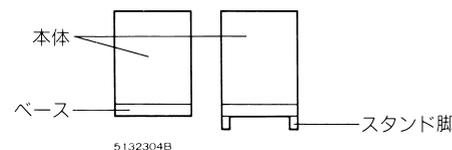
製品の組み立ては、記載している手順・方法通りに行ってください。
誤った手順・方法で組み立てますと、けがや破損のおそれがあります。

①ベースの設置

ベースを据え付け位置に置き、レベルの調整をした後、ベースと床を固定してください。
※ベースと床の固定ができないときは、バランスウエイト(別売)の使用をお勧めします。



②ベースまたはスタンド脚と本体の連結



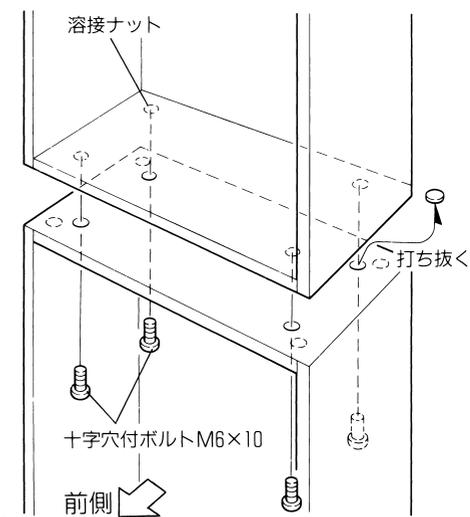
- ラテラルの場合は、一番下の引き出しを抜いてください。
- 本体をベースの上へのせ、内側からボルトで固定してください。
- 底板の□穴に樹脂キャップを取り付けてください。

③本体の上下の連結

- 下置き専用本体(ラテラルを除く)と上置き専用本体の連結
- 上下共用本体と上置き専用本体の連結



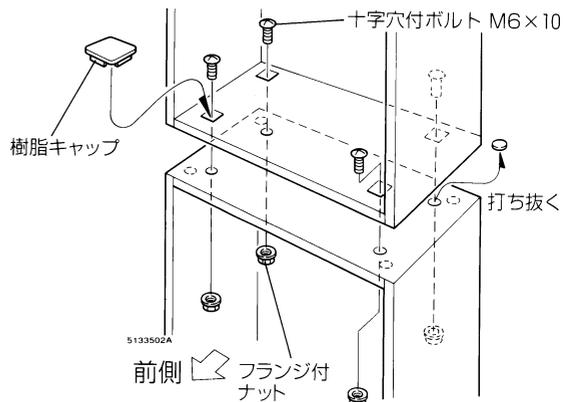
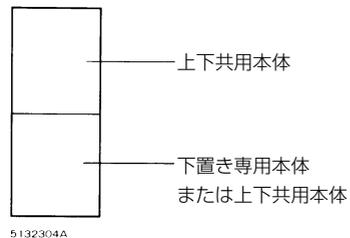
- 下に置く本体のハーフパンチの必要な部分を打ち抜いてください。
※H1752・H2100本体の場合は、ハーフパンチがなく、天面に穴が開いています。
- 下に置く本体の内側からボルトで固定してください。



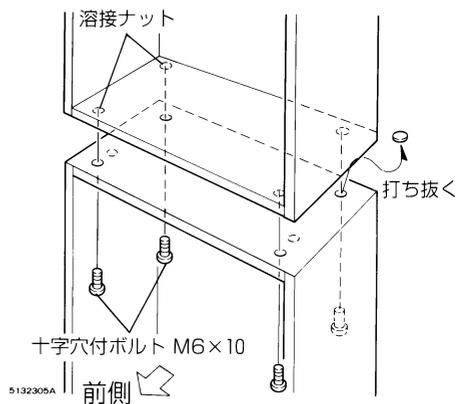
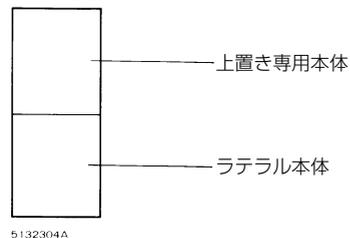
8.組み立てかた

以下の図の要領で、必要な部分のハーフパンチを打ち抜き、ボルト類で本体どうしを連結してください。

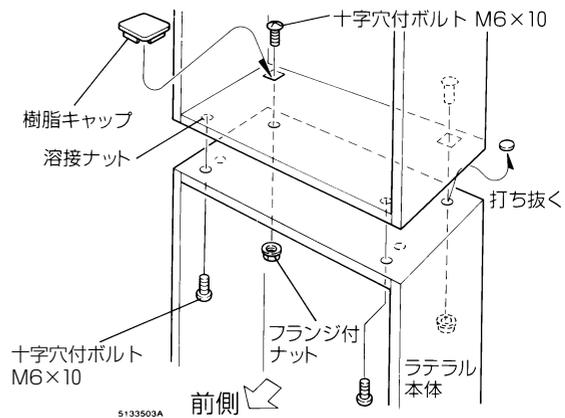
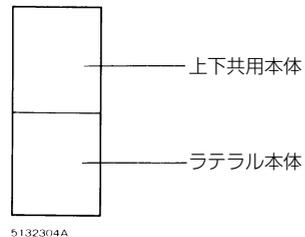
- 下置き専用本体 (ラテラルを除く) と 上下共用本体
- 上下共用本体どうし



- ラテラル本体と上置き専用本体

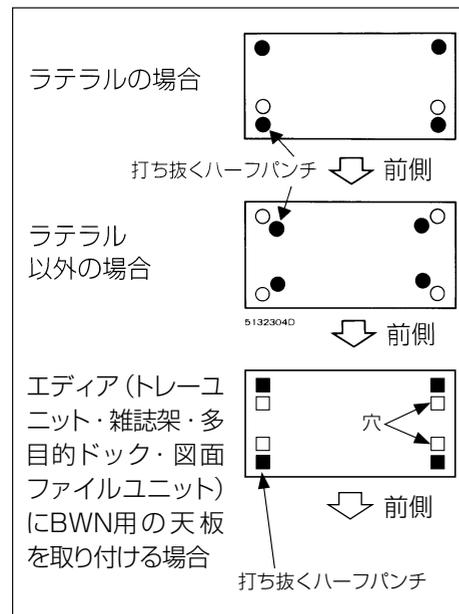


- ラテラル本体と上下共用本体

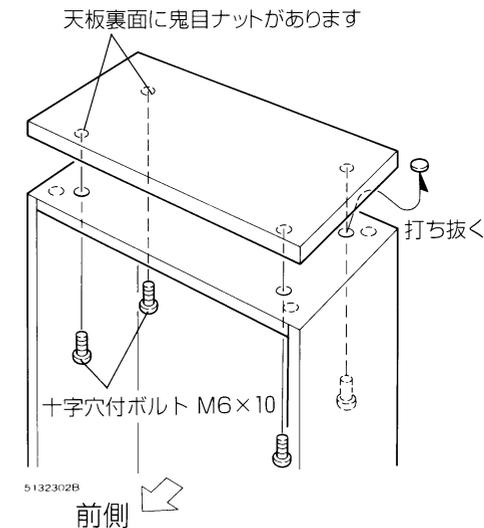


4 本体と天板の連結

1. 本体のハーフパンチの必要な部分を打ち抜いてください。



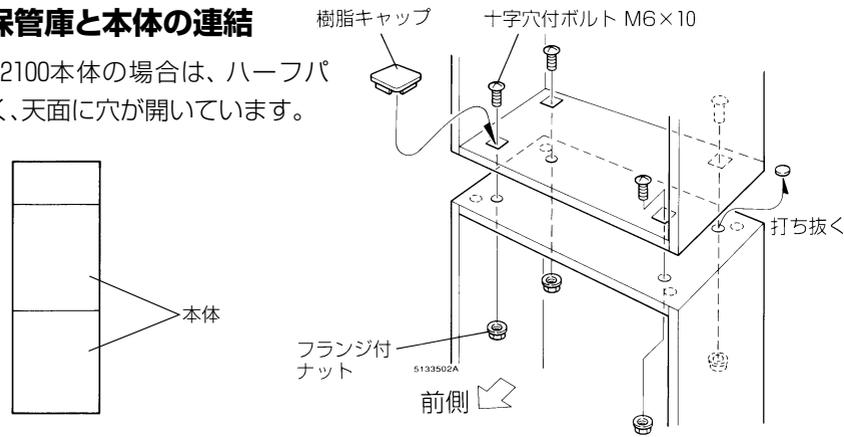
2. 本体の内側からボルトで固定してください。



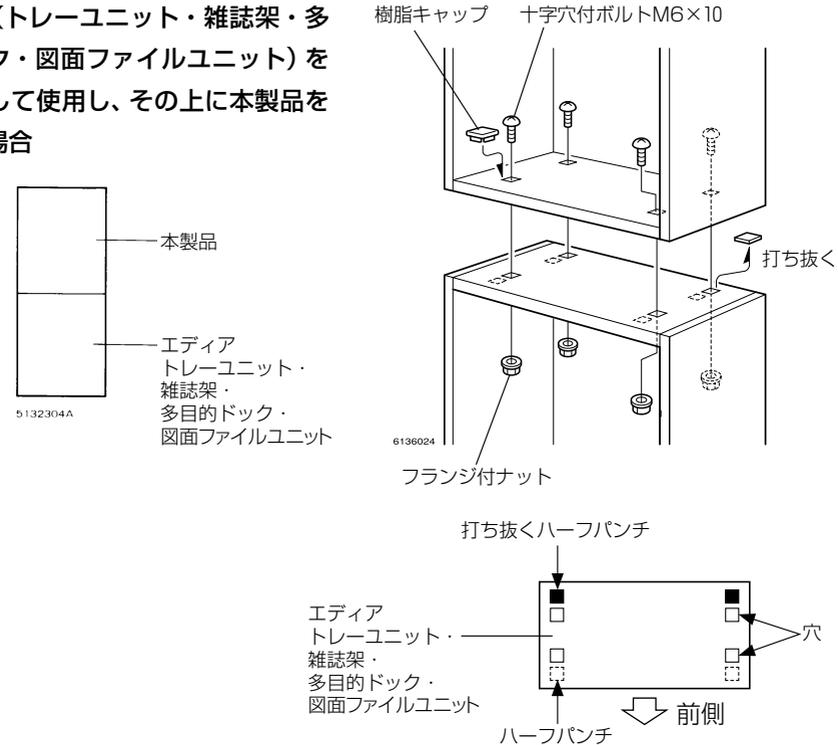
8.組み立てかた

5 上開き保管庫と本体の連結

※H1752・H2100本体の場合は、ハーフパンチがなく、天面に穴が開いています。



●エディア (トレーユニット・雑誌架・多目的ドック・図面ファイルユニット) を下置きとして使用し、その上に本製品を設置する場合

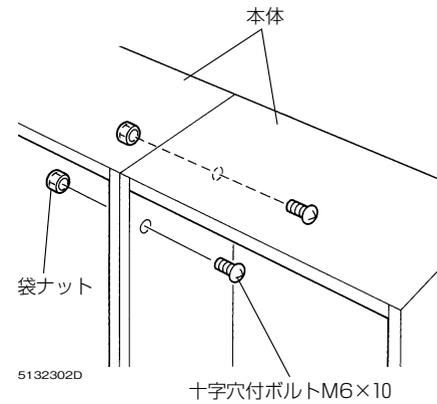


6 本体の横連結

1. 本体を横連結する側の側板のハーフパンチを打ち抜いてください。

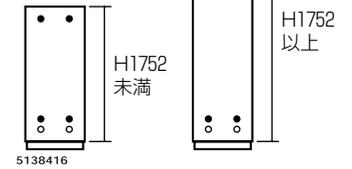
※ハーフパンチをいったん抜くと元にもどりませんので、右図 (ハーフパンチ打ち抜き位置) を参考に正しい位置のハーフパンチを抜いてください。

2. 本体どうしを、ボルトと袋ナットで連結してください。

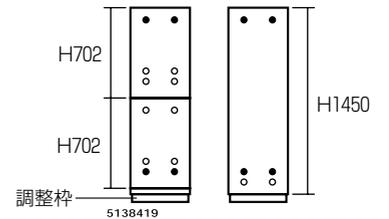
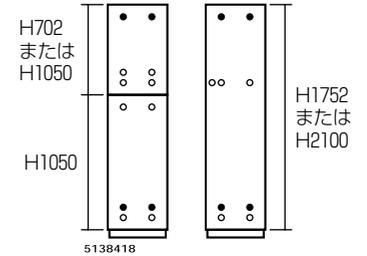
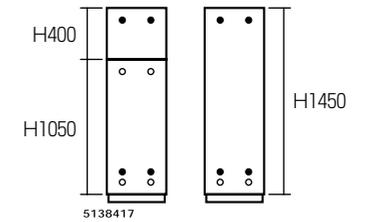


ハーフパンチ打ち抜き位置 (●が打ち抜き位置)

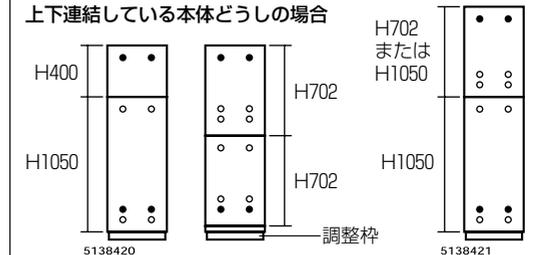
単体どうしの場合



単体と上下連結している本体の場合



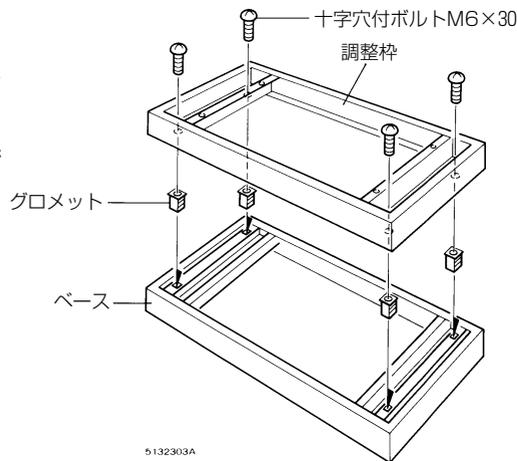
上下連結している本体どうしの場合



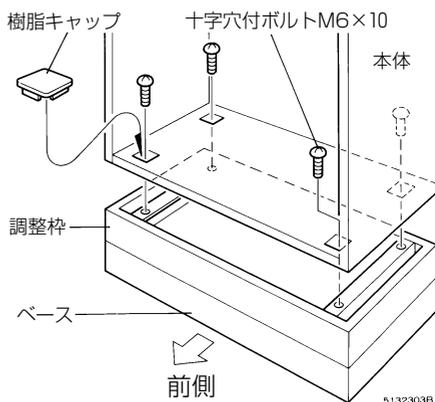
8.組み立てかた

7 ベース・調整枠・本体の連結

- 1.ベースの4カ所にある□穴にグロメットをはめ込んでください。
- 2.ベースに調整枠をのせ、上からボルトで固定してください。



- 3.調整枠の上に本体をのせ、内側からボルトで固定してください。
※ラテラルの場合は、一番下の引き出しを抜いてください。
- 4.本体の□穴に、樹脂キャップを取り付けてください。

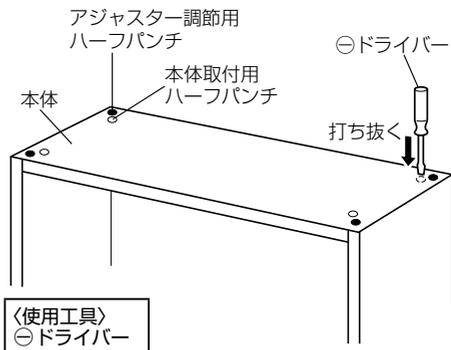


8 笠木の取り付け

〈構成部品〉

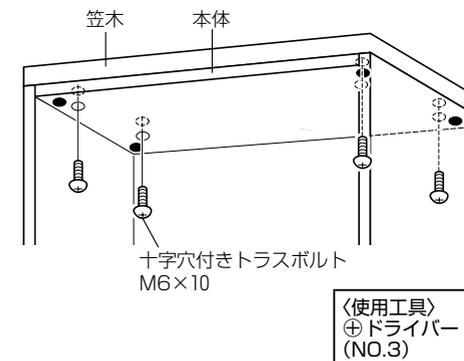
- 笠木…………… 1
十字穴付トラスボルト
M6×10…………… 4

- 1.本体天面のハーフパンチ (本体取付用4箇所、アジャスター調整用4箇所) を、⊖ドライバーで抜いてください。

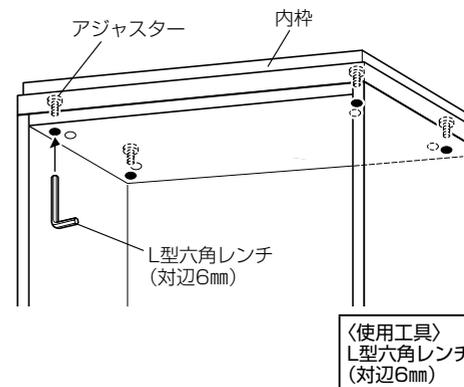


17

- 2.笠木を、本体にのせてください。
- 3.本体の内側から、笠木をボルトで固定してください。

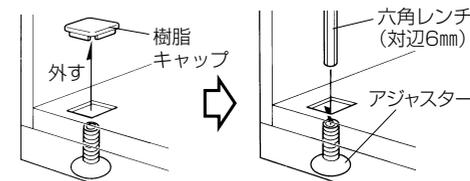


- 4.図のように本体上側の穴から、L型六角レンチでアジャスターを調整して、笠木の内枠を天井に当ててください。
※アジャスターをいっぱいに出しても天井に届かない場合は、笠木の内枠の上下を逆にセットして再度調節してください。



9 レベルの調整

- 1.本体底板の樹脂キャップを外してください。
- 2.樹脂キャップを外した穴から六角レンチで、アジャスターを回転させてレベルの調整をしてください。
- 3.樹脂キャップを元の位置に取り付けてください。



以上で、組み立ては完了です。ガタツキがあるときは、アジャスターで調節してください。

18